

新緑囲まれ音楽堪能

福井で
「森の演奏会」



木漏れ日の中、歌や民話が披露された「森の演奏会」＝3日、福井市中手町

新緑の中で歌や合奏、民話などを楽しむ「森の演奏会」が三日、福井市中手町で開かれた。地域住民や、近くで開かれている自然体験教室に通う子どもら約五十人が集まり、優しい音色が響く木立の中でゆったりとした時間を味わった。

上味見地区の自然を肌で感じてもらうと、旧上味見小を使った体験教室「ふくい森の子自然学校」を運営するNPO法人・自然体験共学センターのスタッフは、特設会場を設けた。ツツや地元住民ら約十五人が実行委を結成して企画。昨年、同NPOのボラティアが同校裏の山に建てたツリーハウスのそばに特設会場を設けた。

はじめに子ども七人が水の妖精に扮して登場し、水をまいて森・水・人の共生を表現。「木のできたオカリナ」と呼ばれるオカリナの演奏や、子どもたちの「世界に一つだけの花」の合唱が披露されると、山中からはヒバリの声も共鳴し、会場はさわやかな雰囲気包まれた。合唱や合奏のほか、旧上味見小元校長の林幸男さん(左)が上味見地区に伝わる民話「魚眼記」を披露。また、学校行事など旧上味見小の歴史も朗読され、訪れた地元住民が懐かしそうに聞き入っていた。